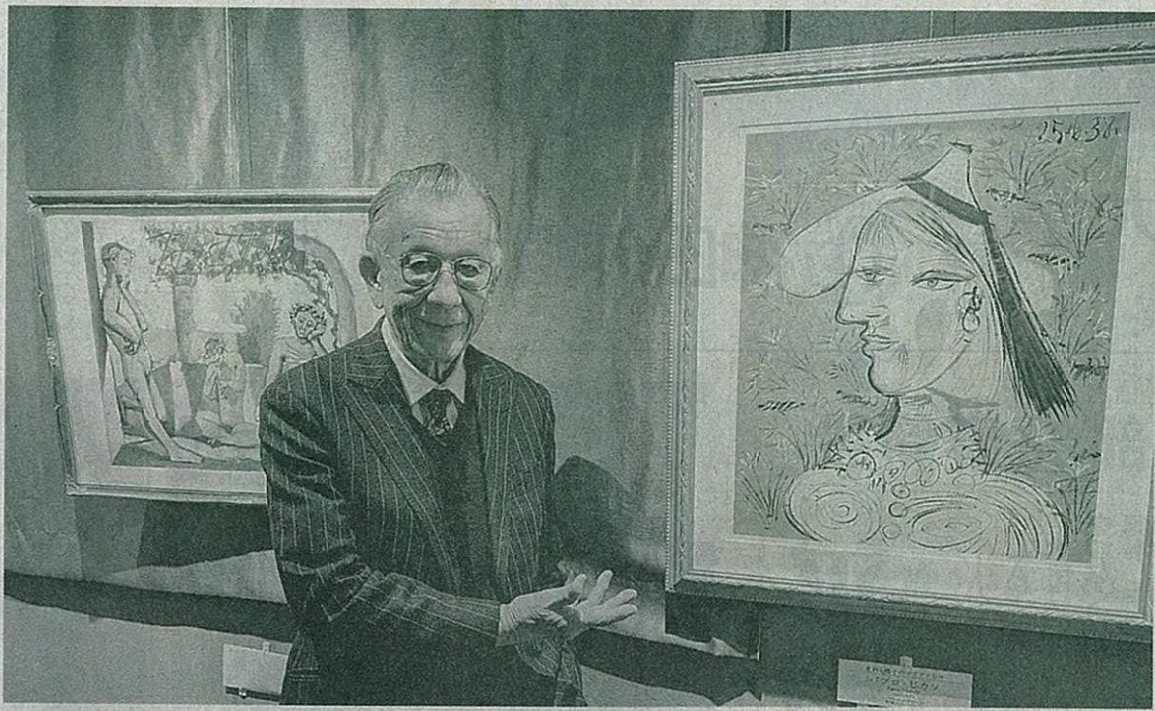


展示作品について説明する青木清志さん。いずれも高崎市下室田町で



飲料製造のハルナビバレッジ名誉会長 青木清志さん収集

飲料製造のハルナビバレッジの創業者で同社名誉会長、青木清志さん(87)が収集してきた美術コレクションを鑑賞できる「榛名美術記念公園」(高崎市下室田町)が開設された。16日から招待者を対象にオープンングレセプションが開かれており、24日から無料公開される。

同公園は、青木さんの自宅を改装した「美術の館」と、庭園「彫刻の杜」で構成されている。

「美術の館」は、ピカソのリトグラフ「麦わら帽子のマリアテレサ」「ドンキホーテとサンチョパンサ」をはじめ、ジャン・シャンセンの油彩画「赤い男」、藤田嗣治がパリの下町を描いたエッチング作品など33点が展示される。

高崎に榛名美術記念公園 24日から無料公開

青木さんの自宅を改装した「美術の館」



「彫刻の杜」は、ギリシヤ神話の主神「ゼウス」をモチーフに大理石の模刻が設置されている。さらに、来春1点の作品が追加される予定という。

今年4月に設立され、青木さんが代表理事を務める一般財団法人「榛名美術」が運営に当たる。

青木さんは50年前、大英博物館を訪れ、ゼウスの彫刻作品に感銘を受け、美術作品の収集を続けていた。コレクションは、社員の感性や想像力を高めようと、同社グループの全国5カ所の拠点に展示されてきたが、「美術作品は多くの人と触れ合ってこそ意義がある」との思いから、広く公開することに決めたという。

青木さんは「美術鑑賞は理屈っぽく考えることはない。作品から受けるものは人それぞれ違うだろうが、それを人生の糧にしたいだけばうれしい」と話している。

開館時間は事前連絡制で、午前11時～午後5時。日・月曜休館。問い合わせは榛名美術(電話027・374・8084)。

【増田勝彦】

絵画、彫刻 多くのの人に